

令和3年
子供の生活状況調査の分析
報告書

令和3年12月

内閣府政策統括官（政策調整担当）

はじめに

この報告書は、内閣府が実施した「令和2年度 子供の生活状況調査」の結果を取りまとめたものです。

本調査では、「令和元年度 子供の貧困実態調査に関する研究」において策定された、自治体が子供の貧困実態調査を実施する際に参考となる「共通調査項目案」を用いて、全国実態調査を試行的に実施するとともに、その結果の分析を行っています。

分析の結果、世帯収入の水準や親の婚姻状況によって、子供の学習・生活・心理面など様々な面が影響を受け、全体と比べ、特にもっとも収入が低い水準の世帯やひとり親世帯が、親子ともに多くの困難に直面するとともに、収入が中低位の水準の世帯でも多様な課題が生じていました。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、そうした世帯での生活の状況がさらに厳しくなっている可能性があります。このように、貧困の連鎖のリスクが裏付けられ、子供の貧困対策を進めるに当たっての保護者・子供に関する生活実態や課題等が示されています。

本調査の集計や分析の方法は、全国の各自治体が同様の調査を実施する際のモデルとなるものと考えており、今後、全国の自治体で「共通調査項目」を活用した調査や、本調査を参考とした分析等が行われることが期待されるとともに、地域の事情に応じた施策が講じられることが重要であると考えます。

なお、本調査の分析に当たっては、令和元年度に「共通調査項目案」等の議論に参画された有識者の方々から、令和3年度に「子供の生活状況調査の分析に関する検討会」にて引き続き、協力・助言を得て、検討を行いました（第1章～第3章）。また、検討会の座長である小林盾教授（成蹊大学）に、分析結果を踏まえたメッセージを御執筆いただいたので掲載しております（第4章）。この場をお借りして、厚く感謝申し上げます。

令和3年12月

内閣府政策統括官（政策調整担当）

<目次>

1. 調査の概要	
1.1. 分析結果の概要	2
1.1.1. 保護者の生活状況	2
1.1.2. 子供の生活状況	8
1.2. 調査実施方法等の概要	13
1.2.1. 調査の目的	13
1.2.2. 調査の仕様	13
1.2.3. 調査の設問	16
1.3. 調査回答者の基本属性等	17
1.3.1. 保護者	17
1.3.2. 子供	20
2. 分析結果	
2.1. 保護者の生活状況	22
2.1.1. 経済的な状況、暮らしの状況	22
2.1.2. 就労の状況	31
2.1.3. 保育の状況	36
2.1.4. 子供との関わり方	38
2.1.5. 学校との関わり・参加	42
2.1.6. 進学期待・展望	44
2.1.7. 頼れる人の有無・相手	48
2.1.8. 保護者の心理的な状態	57
2.2. 子供の生活状況、「貧困の連鎖」リスクの発生状況	59
2.2.1. 学習の状況	59
2.2.2. 進学希望	67
2.2.3. 部活動等への参加状況	75
2.2.4. 日常的な生活の状況	78
2.2.5. 子供の心理的な状態	85
2.2.6. 逆境体験	88

2.3.新型コロナウイルス感染症の影響	91
2.3.1.保護者の状況	91
2.3.2.子供の状況	99
2.4.支援の利用状況や効果等	109
2.4.1.保護者の状況	109
2.4.2.子供の状況	114
2.5.本調査と地方公共団体における実態調査	125
2.5.1.調査結果の比較に関する検討	125
2.5.2.保護者の状況	126
2.5.3.子供の状況	128
3. 調査票の改善に関する検討事項	
3.1.調査実施方法の検討	134
3.2.保護者票の修正	135
3.3.中学生票の修正	140
4. 総括 子供の貧困の実情と求められる支援：	
令和2年度 子供の生活状況調査からのメッセージ	146
5. 参考資料	
5.1.調査票	154
5.1.1.保護者票	154
5.1.2.中学生票	165
5.2.集計表	175
5.2.1.単純集計表（保護者票）	175
5.2.2.単純集計表（中学生票）	179
5.2.3.クロス集計表（保護者票：等価世帯収入別、世帯の状況別）	182
5.2.4.クロス集計表（中学生票：等価世帯収入別、世帯の状況別）	199
5.2.5.クロス集計表（報告書本文非掲載分）	213
5.3.収入の水準に関する参考資料	367
5.3.1.他の調査と比較した場合の水準	367
5.3.2.等価世帯収入の算出	370

